

浜岡原子力発電所4号機 MOX燃料受取検査の実施状況について

平成 21 年 8 月 5 日

現在、MOX燃料集合体28体の受取検査^{※1}を実施しておりますが、これまでに、1基目と2基目の輸送容器に収納されていた燃料集合体計16体の検査を実施し、全ての燃料集合体の外観・形状に異常のないことを確認しました。

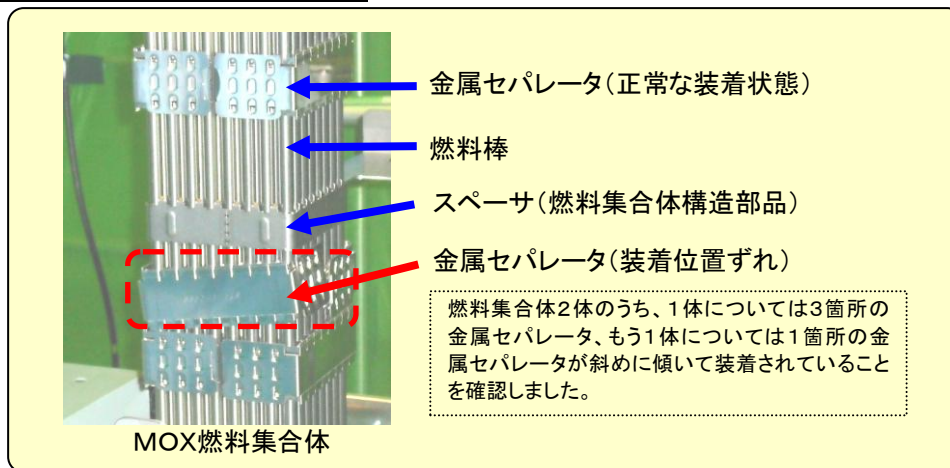
なお、この間の作業中に以下の事象がありましたのでお知らせします。

2基目の輸送容器に収納されていた燃料集合体12体の検査を実施していたところ、その内の2体の燃料集合体に、金属セパレータの位置ずれを確認しました。

金属セパレータは、輸送中における燃料集合体の燃料棒どうしの間隔を保持する目的で装着しているものであり、受取検査に先立ち、燃料集合体から外します。

検査を実施した結果、当該の燃料集合体については、外観・形状に異常のないことを確認していますが、燃料集合体に与える影響評価および原因調査を行っており、その結果については、全ての受取検査が終了した段階で、まとめ次第、お知らせいたします。

金属セパレータの位置ずれの状況



(参考) 受取検査および輸入燃料体検査^{※2}のスケジュール

■ :実績 □ :予定

	7月		8月		
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
受取検査のための作業 (輸送容器の移動および開放作業)	■	■	□		
受取検査 輸入燃料体検査		■ (4体)	■ (12体)	□ (12体)	□ 輸入燃料体検査(外観検査)

※1 受取検査は、当社が、社内の調達ルールに基づき、輸送に伴いMOX燃料に変形等がないことを外観検査等により確認します。

※2 輸入燃料体検査は、電気事業法第51条第3項に基づく検査であり、国により、当社の品質保証活動等に対する書類審査、燃料の外観検査等が行われます。なお、外観検査では、当社の受取検査時のMOX燃料の映像を用いて、全てのMOX燃料について検査が行われます。

【これまでにお知らせした内容】

当社は、平成21年5月18日、4号機用のMOX燃料28体を浜岡原子力発電所に受け入れました。
(平成21年5月18日、平成21年5月27日公表済み)

これまで当該燃料28体に対する受取検査の準備を進めてきましたが、準備が整ったことから、7月17日より同検査のための作業を開始しました。今後、8月中旬まで、輸送容器毎、計3回に分けて検査していきます。

なお、検査スケジュール後段で、国による輸入燃料体検査のうちの外観検査を受検する予定です。
(平成21年7月17日公表済み)

以上